



第6回西原まつりの開祭宣言を高らかに行う平安恒政町長
＝12月1日、西原中学校吹奏楽部の「西原町歌」の演奏をバックに

第6回
西原まつり

町民の融和と住民意識高まる

伝統芸能で「文教のまち」を象徴

地域産業・教育芸能文化の振興と町民相互の融和とより一層の住民意識の高揚を図ろうと西原まつり実行委員会（平安恒政実行委員会）主催の第

六回西原まつりが十一月一日、二日、西原中学校運動場及び体育館で行なわれた。特に、今回の西原まつりで、六万字に伝わる獅子舞や

町内の古典音楽愛好家百余人による琉球古典音楽大演奏、小波津に伝わる棒術、棚原の百々蔵之太主、内間エイサーなどの伝統芸能を中心に町民を魅了する多彩な催しがあった。

初日こそ、雨にたたられ盛り上がり欠けたものの、二日目は晴れた絶好のまつり日より町内外からの参観客が会場せましと賑わった。平安恒政実行委員長による

開祭宣言の後、西原中学校吹奏楽部による迫力に満ちた演奏により幕をあけた。次いで体育館会場のテラブカットも行なわれ農産物、農産加工品、手工芸品、児童生徒作品（図画、工作、書道絵画等）、老人クラブ作品や花き・園芸、商

工業作品などが一般公開された。坂田ママさんコーラスの合唱、民謡サークルによる国体音頭が紹介され、体育館ではRBCライオンカラオケ大賞の公開録音、琉大舞踊研究会によるエイサー、表彰式等が初日行なわれた。二日目は特設ステージや運動場及び体育館で西原高校吹奏楽部によ



発行所
西原町役場
〒903-01
西原町字嘉手苅112番地
電話 (09894)-5-4533
印刷
（協）丸正印刷

町の世帯・人口
（61年10月末現在）
世帯数 6,769世帯
人口 23,141人
男 11,898人
女 11,243人

10月の人口移動
出生 42人 死亡 2人
転入 180人 転出 112人
婚姻 12件 離婚 3件

21世紀を展望する“わが町の将来像について”作文募集

わたしたちの住む西原町は、さとうきび作を中心とした。農業地域として発展してきた町であります。しかし、現在では、いろいろな企業や住宅団地の進出地域開発、更に、国立琉球大学などの移転などにより、人口が急激に増加し、都市化の現象が進みつつあります。西原町では、「人間性豊かな文教のまち」、「明るい住みよい平和なまち」、「豊かで活力のあるまち」、を目標にして町民一人ひとりの声を大切にしながら“町づくり”を進めているところであります。そこで、町民一人ひとりによる21世紀に向けた「文教のまち西原」の建設を進めるため、広く町民の声を“作文”により募集したいと思います。

あなたが考える21世紀に向けての「わが町の将来像について」を発表し、町政に参加してみませんか。

＜応募の締め切りおよび提出方法＞
昭和61年12月25日（木）までに各学校および町役場企画課へ
※一般応募については昭和62年1月15日までとする。
西原町役場 企画課 電話・5-4533

- 「応募規定」
1. 応募作品
作文テーマ「わが町の将来像について」
 2. 作品のきまり
(1) 原稿用紙にえんぴつを使用してください。
(2) 文字数について
小学生 1,200字以内(400字詰め原稿用紙3枚以内)
中学生 2,000字以内(" 5枚 ")
高校生 3,200字以内(" 8枚 ")
一般 4,000字以内(" 10枚 ")
 3. 注意事項
(1) 作品には学校名・学年・氏名を記入してください。
(2) 一般の作品には、住所・氏名を記入してください。
(3) 作品は町民一人、一点までとします。
(4) 応募された作品は返品いたしません。
 4. 発表および表彰
(1) 「広報にしはら」で発表する。
(2) 小学生・中学生・高校生・一般ごとに、それぞれ特選1名、佳作3名、入選2名（賞状と副賞）
(3) 優秀作品については、広報紙等に掲載する。
(4) 応募者全員に記念品
(5) 表彰は西原町役場で行なう。

年始会のお知らせ

昭和六十二年の輝かしい新春を迎えるにあたり、恒例の年始会を次のとおり行いますので町民多数の方が、御参加下さるようお知らせします。

日時 昭和六十二年一月五日

場所 (月)午後四時より
西原町中央公民館

会費 一、〇〇〇円

受付期間 昭和六十一年十二月二十日までに会費を添えて町総務課へ

成人式のお知らせ

本町では、成人の日を迎えられる方々の新しい門出を祝福するため成人式が次の通り挙行されます。

成人者並びに関係者の方々は、お繰り合せの上、ぜひご出席下さい。

記

日時 昭和六十二年一月十五日
午後二時

場所 西原町中央公民館

※詳しいことは、町総務課へ（電話五―五〇一一）

農業委員選挙人名簿
登載申請書について

町内に住所を有し、年齢が満二十歳以上の者で、十アール以上の農地につき、耕作の業務を営む者か、耕作の業務を営む者の同居の親族又はその配偶者で、過去一年間におおむね六十日以上耕作に従事したと町農業委員会が認めた者。これらの各要件に該当する農業従事者は、申請書を昭和六十二年一月十日までに町農業委員会事務局まで提出して下さい。

※詳しくは、町農業委員会（電話五―五〇一一）まで



きらめく太陽 ひろがる友情

62年海邦国体を成功させよう

西原町は成年男子バスケットボール競技会場です。

固定資産税制度のあらまし(その3)

課税のしくみ

1. 土地に対する課税

(1) 評価のしくみ

固定資産評価基準に基づき、地目別に定められた評価方法により評価します。

●地目

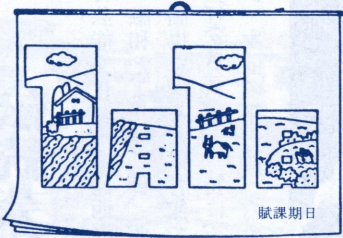
地目は、田、畑、宅地、塩田、鉱泉地、池沼、山林、牧場、原野及び雑種地をいいます。固定資産税の評価上の地目は土地登記簿上の地目にかかわらず、その年の1月1日（賦課期日）の現況の地目によります。

●地積

地積は、原則として土地登記簿に登記されている地積によります。

●価格(評価額)

価格は、固定資産評価基準に基づく、売買実例価額をもとに算定した正常売買価格を基礎として求めます。



(2) 住宅用地に対する課税標準の特例

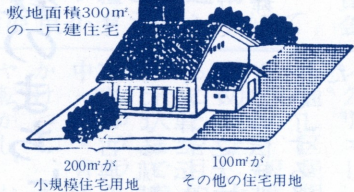
住宅用地については、その税負担を特に軽減する必要から課税標準の特例措置が設けられています。

●小規模住宅用地

○200㎡以下の住宅用地（200㎡を超える場合は住宅1戸あたり200㎡までの部分）を小規模住宅用地といいます。
○小規模住宅用地の課税標準額は、価格の4分の1の額を限度とします（負担調整措置の適用がない場合は価格の4分の1の額となります。）

●その他の住宅用地

○小規模住宅用地以外の住宅用地をその他の住宅用地といいます。たとえば、300㎡の住宅用地（1戸建住宅の敷地）であれば、200㎡分が小規模住宅用地で、残りの100㎡分がその他の住宅用地となります。
○その他の住宅用地の課税標準額は、価格の2分の1の額を限度とします（負担調整措置の適用がない場合は価格の2分の1の額となります。）



事例1

住居戸数が2戸の長屋建の家屋があります。その敷地面積は600㎡で、家屋の床面積は200㎡です。住宅用地の取扱いはどのようになりますか。

解説 事例の家屋は、専用住宅ですので600㎡全部が住宅用地となります。また、住宅用地の面積が200㎡を超え、住宅戸数が2戸ですので、400㎡分(200㎡×2)が小規模住宅用地となり、残りの200㎡分(600㎡－400㎡)がその他の住宅用地となります。

事例2

100㎡の宅地(小規模住宅用地に該当します。)があり、その昭和60～昭和62年度の価格は9,000,000円、昭和57年～昭和59年度の価格は7,200,000円、昭和59年度の課税標準額は1,800,000円です。昭和60年度分61年度分及び62年度分の課税標準額はいくらか。

解説 上昇率は1.25倍 $(\frac{9,000,000 \times \frac{1}{4}}{1,800,000})$ なので、負担調整率は1.1(宅地等)となります。
①昭和60年度分の課税標準額は(60価格) ※
ア $9,000,000 \times \frac{1}{4} = 2,250,000$ 円
(59課税標準額)
イ $1,800,000 \times 1.1 = 1,980,000$ 円
ア>イなので、1,980,000円となります。
②昭和61年度分の課税標準額は(61価格) ※
ア $9,000,000 \times \frac{1}{4} = 2,250,000$ 円
(60課税標準額)
イ $1,980,000 \times 1.1 = 2,178,000$ 円
ア>イなので、2,178,000円となります。
③昭和62年度分の課税標準額は(61価格) ※
ア $9,000,000 \times \frac{1}{4} = 2,250,000$ 円
イ $2,178,000 \times 1.1 = 2,395,800$ 円
ア<イなので2,395,800円となります。
※「 $\frac{1}{4}$ 」は小規模住宅用地に係る課税標準の特例率です。

(3) 負担調整措置

負担調整措置とは、3年に一度の土地の評価替えに伴う税負担の増加を緩和するための措置です。この負担調整措置によって、毎年徐々に評価額に基づく税負担に近づけていくことになります。

国民年金制度：こんなときこんな年金がうけられる

国民年金制度は、長期的に安定した公的年金制度の確立のため改革されました。

改革の内容については、いろいろ議論を残すところもありましたが、特徴点として

国民年金加入者が障害になったときに受けられる障害基礎年金や、夫が亡くなったとき妻が受けられる遺族基礎年金などの短期給付は改革され受給者に対して配慮されるようになりました。

▽障害基礎年金を受けられるとき

障害基礎年金は、国民年金の被保険者（第一号・第三号被保険者）期間中に初診日（はじめて医師の診療を受けた日をいいます）があり、

この初診日から起算して一年六カ月を経過した日又は一年六カ月を経過しない間になおった日（障害認定日という）において、一級又は二級の障害の状態にあるときに支給される。ただし、初診日の前日において、初診日の属する月の前々日までに被保険者期間があるときは、保険料を納付した期間と保険料を免除された期間とを合算した期間が、被保険者期間の三分の二以上あることが必要です。

なお、初診日が昭和七十一年四月一日前にあるときは、

先の要件を満たさなくても直近の一年間に保険料の滞納がなければよいことになっています。初診日が二十歳前にあ

るときは、二十歳になったとき（障害認定日が二十歳以後のときは障害認定日）に一級又は二級の障害の程度であれば、障害基礎年金が支給されます。

▽障害厚生年金・障害手当金を受けられるとき

障害厚生年金は、厚生年金保険の被保険者期間中に初診日のある傷病によって、一級又は二級の障害の状態にあるときに障害基礎年金の上乗せ給付として支給されます。

また、三級の状態にあるときは、厚生年金保険独自の障害厚生年金が、三級よりも軽い障害が残ったときは、障害手当金（一時金）が支給され

ます。なお、いずれの場合も事前に死亡日がある場合は、

障害基礎年金を受けるのに必要な保険料納付要件を満たしていることが必要です。

▽遺族基礎年金を受けられるとき

遺族基礎年金は、国民年金の被保険者などが死亡したとき、その人の遺族（子のある妻又は子）に支給されます。

ただし、国民年金の被保険者が死亡したときなど、死亡目前に国民年金の保険料を納めなければならない期間があるときは、保険料を納付した期間と保険料を免除された期間とを合算した期間が、被保険者期間の三分の二以上ある

必要があります。

なお、昭和七十一年四月一日前に死亡日がある場合は、

死亡前の一年間に国民年金の保険料の納付がなければよいことになっています。

▽遺族厚生年金を受けられるとき

遺族厚生年金は、厚生年金保険の被保険者などが死亡したときに、その人の遺族（子のある妻又は子）に遺族基礎年金の上乗せ給付として支給されます。また、遺族が子の無妻、夫、父母、祖父母の場合、厚生年金保険独自の遺族厚生年金が支給されます。

なお、いずれの場合も、原則として遺族基礎年金を受けるのに必要な保険料納付要件を満たしていることが必要です。

なお、昭和七十一年四月一日前に死亡日がある場合は、

郵便局が口座振替を実施

六十二年一月より

▼納税は便利な口座振替を▲

町税務課では、昭和六十一年四月から納税者の利便を図るために、町民税、固定資産税、軽自動車税の口座振替制度をスタートさせ、納税者の方々に喜んでいただいております。

さて、これまでの口座振替の取扱金融機関は、町農協本店・支所、琉球銀行本店・支店でありましたが、昭和六十二年一月からは、郵便局でも取扱いができるようになりました。郵便局では、口座さえあれば、通帳とその印鑑を持参し

①銀行や町役場の窓口に向かなくても自動的に振替えて納税ができる。
②納期限を忘れることなく督促手数料、延滞金などを支払うことがないという利点があります。
※納税者の積極的な口座振替を御願います。
詳しいことは郵便局窓口でお問い合わせ下さい。

県民運動キャラバン隊来町

去る十月三十一日、第42回国民体育大会沖縄県実行委員会では、来年の海邦国体一年前記念県民運動キャラバン隊を県内の国体会場地市町村へ派遣し、なお一層の県民運動の盛り上がりを図った。

本町でも、国体成功に向けて、各種関係団体の協力を得て、去る八月には、リハースル大会を成功裏に終え、来年の本国体に向け諸準備に取り組んでいる。

残された期間は、あと一年もありません。全町民が、積極的に海邦国体成功のため頑張ります。



海邦国体一年前を記念して県民運動キャラバン隊が本町を訪れる＝1月31日、町国体事務局前

年金保険料4、5、6、7、8、9、10月分

未納の方は早目に納付して下さい。



夢とロマンを乗せて「文教のまち西原」に打ち上げられる花火



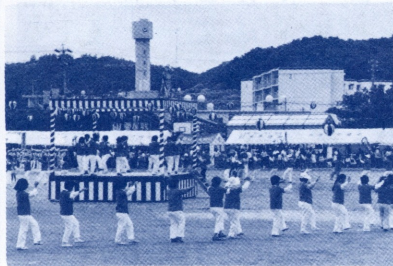
内間国民の誘りとして区民一体となった見事な内間さん



愛情をこめた農産物、加工品 花卉、盆栽等を参観の町民



平安まつり実行委員長より 展示部門入賞者一人ひとりに賞状



「おかあさん」などやさしい 町婦人会の集団演技



若さを失わない町老人クラブによる ハツラツとした踊り



町商工会婦人部・青年部による 集団演技



見事なマーチング演技を披露する 西原高校吹奏楽部メンバー



仲宗根盛次民謡、舞踊曲研究会による民謡ショー



町子供エイサーも まつりには欠かせないもの



歌い出したら止まらない チビ子のど自慢



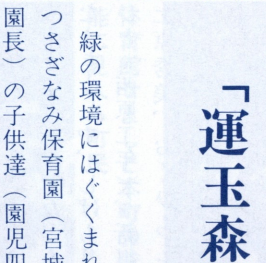
笑いと三味線でおなじみ ワクブショー＝照屋林助さん



町社会福祉協議会（宮平吉 太朗会長）では、去る十一月二十二日、町中央公民館ホールにおいて、法人化十周年記念式典及び祝賀会を開催した。同協議会は、昭和三十四年社会福祉協議会として設置され、「赤い羽根共同募金」や



運玉森登山記念にユリ等の球根を植え満足の園児たち



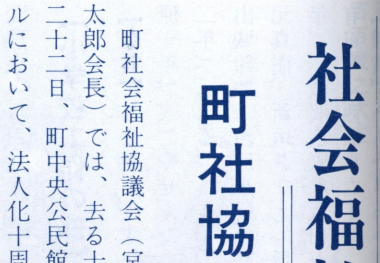
「運玉森」に花咲く日はいつかな



さざなみ保育園児が登山



十一チームが熱戦



町少年野球

緑の環境にはぐくまれて育つさざなみ保育園（宮城邦子園長）の子供達（園児四十名）

父母七名）が、本町の代表的な運玉森に登った。これは自然を愛する心と強い身体を育てる為、同園が開園以来、年一回、親子で楽しく行っているもので、日頃きたえた強い足で、自然とのふれ合いを親子で味わった。

「社会福祉、保障をめぐる諸情勢は厳しく、福祉に対する

「歳末助け合い運動」などの社会福祉事業を推進し、昭和五十一年十一月五日に社会福祉法人として認可された。昭和五十四年、町政施行と同時に社会福祉活動の拠点である社会福祉センターの完成により地域福祉活動が活発に展開されてきた。

「歳末助け合い運動」などの社会福祉事業を推進し、昭和五十一年十一月五日に社会福祉法人として認可された。昭和五十四年、町政施行と同時に社会福祉活動の拠点である社会福祉センターの完成により地域福祉活動が活発に展開されてきた。

園児たちが、可愛い手を口に当て思い思いに「ヤッホ

「と叫んでみる。また、草の上に寝ころがる

「と叫んでみる。また、草の上に寝ころがる

「と叫んでみる。また、草の上に寝ころがる

「と叫んでみる。また、草の上に寝ころがる

「と叫んでみる。また、草の上に寝ころがる

「と叫んでみる。また、草の上に寝ころがる

「と叫んでみる。また、草の上に寝ころがる

「と叫んでみる。また、草の上に寝ころがる

「と叫んでみる。また、草の上に寝ころがる

「と叫んでみる。また、草の上に寝ころがる

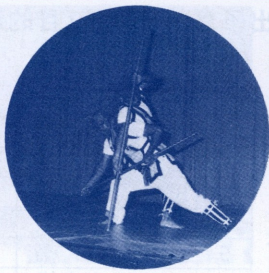
「と叫んでみる。また、草の上に寝ころがる



体育館内の展示品一般公開前に
テープカット＝平安町長(写真中央)



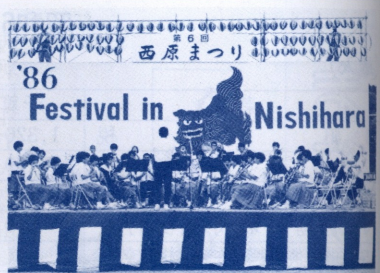
3代目にあたる
字小橋川の獅子舞



9つの技が残る
小波津の棒術



首里手を基本にした
字小那覇の獅子舞



県内でもトップの実力を誇る西原中
学校吹奏楽部の演奏



創造性豊かな児童生徒の作品を
ほほえましく参観する平安町長



空手の型を取り入れた
字幸地の獅子舞

フオト西原まつり



7つの型が伝えられる
字翁長の獅子舞



素晴らしい声を披露する坂田小PTA
合唱団＝坂田小中本教頭指揮



花と緑いっぱい運動の苗木無料配布には
連日、長い列＝町花ブーゲンビリアなど



青年に受け
継がれたる小波津の獅子舞



元手と新手をもつ
字我謝の獅子舞



「団体音頭」や「四つ竹」を紹介する本町婦人
国体集团演技出場メンバー



体育館せましと本町の伝統芸
能に見入る町民



「文教のまち西原」に奏でる
百名余の古典音楽大演奏



平和・豊年を祈願する棚原の
百蔵蔵之主

【優秀賞】チンゲンサイ・与

【農産物の部】

【金賞】富浜宗允(西高一年)
【銀賞】島田小夜美、比嘉ゆきの(西高一年)、渡慶次博子(西高二年)、慶田京子(西高三年)
【銅賞】田場美奈子、泉川剛(西高一年)、名幸英治、譜久村明子、奥平清正(西高二年)、沢砥清喜(西高三年)
【佳作】新里英史、仲間めぐみ(西高一年)、与那嶺小夜子、与那城章子、比嘉幸枝(西高三年)

【高校絵画の部】

【金賞】富浜宗允(西高一年)
【銀賞】島田小夜美、比嘉ゆきの(西高一年)、渡慶次博子(西高二年)、慶田京子(西高三年)
【銅賞】田場美奈子、泉川剛(西高一年)、名幸英治、譜久村明子、奥平清正(西高二年)、沢砥清喜(西高三年)
【佳作】新里英史、仲間めぐみ(西高一年)、与那嶺小夜子、与那城章子、比嘉幸枝(西高三年)

【中学校家庭科の部】

【金賞】崎原ともえ(一年)、崎間聖子(三年)
【銀賞】新川昌代、新川聡美(一年)、饒平名貴子(二年)、仲間かおり、由浅順子(三年)
【銅賞】与那嶺久美子、宮里美智子、真栄城時子(一年)、大浜美希(二年)、玉那覇裕子、呉屋奈美子、藤井ユカ(三年)
【佳作】仲宗根香、新垣美香、呉屋美根子(一年)、城間みか(二年)、前森牧、宮平明子、米田美都子(三年)
※西原中のみ

【農産加工の部】

【優秀賞】トーガチッパン・沢砥ツル(幸地)、パイイヤジャム・仲宗根尚美(幸地)、きゅうりの粕漬・屋良松枝(上原)
【農協長賞】パイイヤジャム 仲宗根尚美(幸地)
【入賞】花城康子(与那城) 屋良松枝(上原)、翁長秀子、山本光子、与那嶺春子、内藤貞代、与那嶺ハル子、翁長秀子(幸地)、小波津政子(小波津)、諸見里シゲ(与那城) 屋良富子、金城カヨ(上原) 宮里文子(棚原)、仲宗根みどり、与那嶺良子、仲宗根沙織、沢砥静子、与那嶺千代、仲宗根ハル、仲宗根政子、沢砥和江(幸地)、安里ナヘ、屋良松枝(上原)、小波津政子、呉屋光子(小波津)、稲福カメ(兼久)

【花卉盆栽の部】

【優秀賞】カイズカイビキ・久田友明(小那覇)、デンドロビウム・宮平和俊(与那城)
【農協長賞】ガジマル 宮平正輝(我謝)
【入賞】小橋川正光(我謝)、小橋川清徳、宮城和高(与那城)、中山博光(兼久)、小波津正雄、喜屋武正光(呉屋)、安座間喜進(森川)、与那城勝己(安室)、前田明男(嘉手苺)

【果樹の部】

【優秀賞】パイイヤ・崎原盛宜(上原)
【農協長賞】パイイヤ・崎原盛宜(上原)
【入賞】崎原盛松(呉屋)、城間ウト(翁長)、稲福恭仁(上原)

【さとうきび優良農家】

新川善太郎(小那覇) 県農林水産部長賞、呉屋良光、城間加明(翁長)、花城盛保(我謝)、小波津三郎(小波津) 呉屋仁市(津花波)

昭和61年度年末年始の交通安全県民運動

昭和61年12月23日～62年1月6日

飲みません! 車ですからきっぱりと!

昭和61年度町一般会計歳入歳出予算執行状況(目的別)

単位：千円 % (歳入)				単位：千円、% (歳出)			
款	予算額	収入額	執行率	款	予算額	支出額	執行率
1. 町 税	1,320,703	677,736	51.3	1. 議 会 費	88,453	41,036	46.4
2. 地 方 譲 与 税	79,587	15,724	19.8	2. 総 務 費	495,236	245,771	49.6
3. 娯楽施設利用税交付金	31,900	11,016	34.5	3. 民 生 費	443,667	191,444	43.2
4. 自動車取得税交付金	10,200	4,000	39.2	4. 衛 生 費	211,852	104,434	49.3
5. 国有提供施設等所在市町村助成交付金	328	—	—	5. 労 働 費	3	—	—
6. 地 方 交 付 税	902,598	631,988	70.0	6. 農 林 水 産 業 費	264,380	65,331	24.7
7. 交通安全対策特別交付金	2,100	915	43.6	7. 商 工 費	6,865	3,354	48.9
8. 分担金及び負担金	45,300	24,579	54.3	8. 土 木 費	1,449,989	104,295	7.2
9. 使用料及び手数料	25,437	13,027	51.2	9. 消 防 費	183,355	91,700	50.0
10. 国 庫 支 出 金	1,068,677	110,508	10.3	10. 教 育 費	1,617,561	261,750	16.2
11. 県 支 出 金	297,574	58,003	19.5	11. 災 害 復 旧 費	55,002	648	1.2
12. 財 産 収 入	36,888	28,358	76.9	12. 公 債 費	428,404	197,720	46.2
13. 寄 附 金	2	—	—	13. 諸 支 出 金	1	—	—
14. 繰 入 金	334,483	—	—	14. 予 備 費	18,964	—	—
15. 繰 越 金	46,112	46,112	100.0	歳 出 合 計	5,263,732	1,307,483	24.8
16. 諸 収 入	154,043	64,398	41.8				
17. 町 債	907,800	—	—				
歳 入 合 計	5,263,732	1,686,364	32.0				

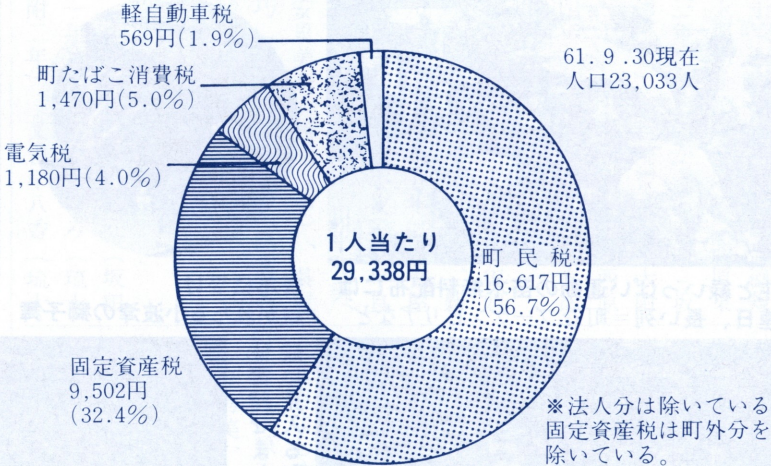
町債の償還状況			
借 入 額	元金償還額	元金未償還額	償 還 率
41億6,990万円	5 億6,706万5千円	36億283万5千円	13.6%

財 産		
土 地	建 物	基 金
25万3,344㎡	3 万3,197㎡	9 億2,296万6千円
※但し、土地は道路、河川用地は除く		
有 価 証 券	出 資 による 権 利	車 輛
539万9千円	2,173万2千円	31台

昭和61年度水道事業特別会計予算執行状況

収 入	予算額	4億8,040万4千円	執行率(50.8%)
	収入額	2億4,415万4千円	
支 出	予算額	4億7,484万円	執行率(44.5%)
	支出額	2億1,138万8千円	
資 本 収 入	予算額	7,545万2千円	執行率(—)
	収入額	—	
支 出	予算額	9,648万5千円	執行率(35.3%)
	支出額	3,408万円	

町民1人当たり町税負担額



町民1人当たりの歳出額(予算額)
22万8,530円

企業債の償還状況

借 入 額	償 還 額	未 償 還 額	償 還 率
5 億1,139万6千円	2,185万9千円	4 億8,953万7千円	4.3%

◎企業の固定資産総額 10億1,736万1千円

昭和61年度町国民健康保険特別会計予算執行状況

単位：千円 % (歳入)				単位：千円 % (歳出)			
款	予算額	収入額	執行率	款	予算額	支出額	執行率
1. 国民健康保険税	288,582	91,214	31.6	1. 総 務 費	32,951	13,538	41.1
2. 一 部 負 担 金	2	—	—	2. 保 険 給 付 費	558,735	205,311	36.7
3. 使用料及び手数料	250	72	28.8	3. 老人保険拠出金	242,526	101,062	41.7
4. 国 庫 支 出 金	469,477	127,191	27.1	4. 共 同 事 業 拠 出 金	3,917	976	24.9
5. 療養給付費交付金	50,574	21,414	42.3	5. 保 健 施 設 費	4,363	1,078	24.7
6. 県 支 出 金	225	—	—	6. 基 金 積 立 金	15,000	—	—
7. 共 同 事 業 交 付 金	3,906	1,014	26.0	7. 公 債 費	1,364	—	—
8. 財 産 収 入	1	483	皆増	8. 諸 支 出 金	603	223	37.0
9. 繰 入 金	10,000	—	—	9. 予 備 費	21,129	—	—
10. 繰 越 金	55,565	55,564	100.0	歳 出 合 計	880,588	322,188	36.6
11. 諸 収 入	2,006	764	38.1				
歳 入 合 計	880,588	297,716	33.8				

国民健康保険税負担額と保険給付費

被保険者数世帯数	1 世帯当たり保険税額	1世帯当たり保険給付費
2,756(9,069人)	87,599円	202,734円

※ただし、保険税は調定額、保険給付費は予算額

昭和61年度 老人保健特別会計予算執行状況

単位：千円 % (歳入)				単位：千円 % (歳出)			
款	予算額	収入額	執行率	款	予算額	支出額	執行率
1. 支払基金交付金	389,855	120,558	31.0	1. 医 療 諸 費	556,521	201,374	36.2
2. 国 庫 支 出 金	111,109	44,458	40.0	2. 諸 支 出 金	7,703	—	—
3. 県 支 出 金	27,777	12,058	43.4	3. 予 備 費	49	—	—
4. 繰 入 金	27,777	20,000	72.0	歳 出 合 計	564,273	201,374	35.7
5. 繰 越 金	5,491	5,491	100.0				
6. 諸 収 入	2,264	3,480	153.7				
歳入合計	564,273	206,045	36.5				

明るい西原町 あなたの税が生きている!!

まなぶ町民。きょういく広場

子ども弁士達に盛んな拍手

第七回童話・お話・意見発表大会

西原町PTA連絡協議会(新川雅雅会長)では、第七回西原地区童話・お話・意見発表大会を去る十一月十二日(水)午後一時半より町中央公民館で行った。

同発表会には、各小、中学校の予選を勝ち抜いた児童生徒十四名が参加、会場に詰め

かけた各小・中学校の仲間達の声援を受けながら熱弁をふるった。

また、同会場には、平安恒政町長をはじめ、与那嶺浩町学推協会長や稲福恭助町教育長、各小・中学校の学校長等来賓多数も参加、真剣な表情で意見発表する子ども弁士達に盛んな拍手を送っていた。

尚、成績は次のとおり。

【小学校低学年の部】
最優秀賞：仲本久(坂田小二年)、山城真希(西原小一年)

優秀賞：普天間秀人(西原東小一年)、屋宜君志(西原小一年)、上原彩野(西原東小二

年)、嘉手納千晶(坂田小一年)

【小学校高学年の部】
最優秀賞：大城伸吾(西原東小五年)、宮平星子(西原小六年)

優秀賞：仲間雄一(坂田小五年)、真栄城玄竹(西原小五年)、喜屋武麻記(西原東小五年)、与儀さとみ(坂田小四年)

【中学校の部】
最優秀賞：西表将(西原中三年)、宮城ありさ(西原中三年)

※最優秀のみなさんは、西原地区代表として、糸満市で開かれる第三十七回小・中学校童話・お話・意見発表沖縄大会(十二月十三日)へ出場することになっている。

【中学校の部】
最優秀賞：西表将(西原中三年)、宮城ありさ(西原中三年)

※最優秀のみなさんは、西原地区代表として、糸満市で開かれる第三十七回小・中学校童話・お話・意見発表沖縄大会(十二月十三日)へ出場することになっている。

【中学校の部】
最優秀賞：西表将(西原中三年)、宮城ありさ(西原中三年)

※最優秀のみなさんは、西原地区代表として、糸満市で開かれる第三十七回小・中学校童話・お話・意見発表沖縄大会(十二月十三日)へ出場することになっている。



仲間達の声援を受け熱弁をふるう豆弁士=11月12日(水)町中央公民館にて



なごやかな学級で楽しく学ぶ町内婦人達=11月19日 町中央公民館

共に集い、学ぼうを目標に

町教育委員会婦人学級

町教育委員会では、婦人にとりまぐ諸問題についての知識と理解を深め、婦人自ら問題の解決に積極的に取り組む姿勢を養うことを目的に、去る十一月十九日、午後八時より、来年一月十九日までの八回(毎週水曜日)に分けての婦人学級をスタートさせた。

同学級では、①上手な話し方②いきいき人間関係③婦人と生きがい④手工芸⑤皆んなで楽しく⑥婦人と国際交流⑦食品公害などについて学習する予定になっている。

共に集い、共に学ぼうをスローガンに、今、町内の婦人達が積極的に学習に取り組んでいる。

※詳しくは、町教育委員会社会教育課(五一三六五)まで

【中学校の部】
最優秀賞：西表将(西原中三年)、宮城ありさ(西原中三年)

【中学校の部】
最優秀賞：西表将(西原中三年)、宮城ありさ(西原中三年)

※最優秀のみなさんは、西原地区代表として、糸満市で開かれる第三十七回小・中学校童話・お話・意見発表沖縄大会(十二月十三日)へ出場することになっている。

九州地区で金賞、全国大会へ

西中吹奏楽部十二月に演奏会

西原中学校吹奏楽部(津嘉山寛喜校長)では、十一月十日、宮崎県都市で開かれた第四回九州地区マーチングコンクールに沖縄県代表として出場し、見事、マーチングの部で金賞、フェスティバルの部でも、優秀賞を受賞した。

同吹奏楽部では、演奏の中に沖縄独特の曲「谷茶前」や「四つ竹」などを組み入れるなど、創造性と独創性を発揮しての今回の受賞。

来年一月には、東京都(日本武道館)で開かれる全国大会に出場することが決まり、

早くも全国大会に向け練習を開始している。

去る十一月十九日、指導者の仲村春盛先生をはじめ、学校長、教頭、生徒代表が受賞報告と派遣協力に対するお礼のため本町を訪れた。



九州マーチングコンテストを制し、本町を訪れる西中吹奏楽部=11月19日

青年・婦人国内研修に参加して

心のふれあい大切さを学ぶ

自分は今、青年であって良かったと感じました。

去った十一月十七日(月)から二十一日(金)までの五日間、初めて中頭地区青年・婦人国内研修に参加して非常に多くのものを学びました。

この研修は、先進地域である福岡、大分、山口県の青年会や婦人会の活動状況等を参観し、訪問地域の青年や婦人との交流、交換を通じて見聞を広め、地域活動の活性化を図る目的で実施された。

現代社会では、青年がその世代で何を成すべきか、大きな期待が寄せられています。

今回の研修に参加して、先進地域の社会教育施設や公共施設、文化財、史跡などの視察更に、研修生同志の青年・婦人との交流会、また、本土の青年・婦人との交流会を経験し、自分にとって大きな糧となり、それが自信へとつながったように思えます。

特に今回の研修では、福岡

県の飯塚市(昔から炭鉱で名のうれた町だが、今では炭鉱を閉ざして十年余たち、県下でも暗いイメージがあった)における「まつりボタ山」が印象的である。

「ボタ山」とは、石炭のカスを積み上げた山のことで、標高百四十メートルに二連、三連からなり見るからに「チリも積もれば山となる」を証明し雄大な感じがしました。

「まつりボタ山」とは、そのボタ山に、数回おきに幾つもの照明を立て花火を上げ祝うというもので、すべて青年会が中心となって、祭り予算の七百万円のうち、市よりわずか四十万円程度の補助を受け、

研修生 新城武 執筆



研修に町より男子3名が参加=後列右側より新城、金城、花城の各青年

友情の輪を広げる絶好の機会

国体事務局民泊推進中

第四十二回国民体育大会町
実行委員会（平安恒政会長）



海邦国体成功に向け民泊推進を説明する
＝11月11日 町役場2階会議室にて

では、来年開催される海邦国体に向けて、本町における成年男子バスケットボール競技に出場する選手・監督の民泊推進説明会を実施している。ご承知のとおり本町には宿泊施設が皆無に等しく、町民のご協力を得て一般家庭にお泊りいただく「民泊」をお願いすることになります。全国から参加される選手と本町の民泊家庭との間に新しい友好の輪を広げ本町を全国に紹介する絶好の機会です。「民泊」は、国民体育大会町国体事務局

電話 五・五〇一
(内線37)

明るくい住みよい地域をめざし

第四回産業展示会賑う

小波津農村振興会（小波津善一会長）では、去る十一月二十三日（日）、午前十一時



より同集落センターで第四回産業展示会を行った。写真これは、区民の各種技術の交流の場とし、明るくい住みよい小波津をめざし、農業の振興を図ることを目的としたもので、区民総参加で催された。会場には、区民自ら生産した野菜や果樹などの農産物、盆栽、手工芸品、つけ物、菓子、児童・生徒の作品、各種の展示物が展示され、見る人の目を楽しませた。

更に、家庭緑化コンクールや婦人会による試食会コーナーやバザーなども行われた。なお、各種の受賞者は次のとおり。

【農産物】優秀賞・小波津三郎（サトイモ）▽入賞・小波津三郎（夏みかん・タンカン）小波津武（大根）、小波津ウシ（トウモロコシ）

【農産加工】優秀賞・小波津夏子（漬物）▽入賞・小波津ソル子（梅酒）、小波津弘子（ヒジキのつくだに）、小波津キク（みそ）、小波津千代子（くずもち）、呉屋光子（梅干）

【手工芸】優秀賞・砂川久美子（リュックサック）▽入賞・呉屋則行（たこ）呉屋善映（版画）黒島新吾（ふくろう）

婦人会と老クが交流会

新生活問題等で熱心な交流

去った十一月十七日、午後一時より、町社会福祉センターにおいて、町婦人会（玉那覇恭子会長）と町老人クラブ連合会（呉屋幸夫会長）の交流会が約六十名の参加により行われた。



町婦人会と町老人クラブが交流を図る＝11月17日 町社会福祉センター

交流会では、浦添署交通課より借用した交通安全に関するフィルム上映会に始まり、来年、開催される海邦国体に向けての本町の環境美化問題や新生活実践運動に関する意見交換などが行われた。

特に、環境美化の問題については、地域での日常的な取り組みが大切であると確認。また、新生活実践運動については、県内市町村における祝儀の金額調査を婦人会が実施し、その一覧表を参考にしながら、見栄や無駄のない心のおつき合いを進めようと町内における祝儀の金額などについても熱心に話し合われた。

栄養改善指導者を養成

栄養教室で健康づくりを学習

町保健衛生課では、那覇保健所の協力により、地域住民の健康づくりを推進するため栄養教室を実施している。



地域住民の健康づくりを学ぶ＝町中央公民館にて

これは、町内の婦人や関係団体等を対象に、栄養に関する知識及び技術指導を実施し栄養改善を推進する指導者を養成することを目的に行なわれ、時間数にして四十二時間以上とし、⑦保健所のはたき④栄養学⑤食品学⑥調理学及び栄養実習⑧成人病の基礎知識⑨健康づくりと地区組織活動⑩食品衛生学などを学ぶことになっている。

なお、栄養教室には、町内の婦人や関係団体などから約三十名の受講生がおり、真剣に地域住民の健康づくりについて学習に励んでいる。

「紅葉の旅」に90名参加

町婦人会が西九州を社会見学

町婦人会（玉那覇恭子会長）では、去る十一月四日から六日までの二泊三日の日程により西九州一周の旅を実施した。この旅は、町婦人会の六十一年度事業における社会見学事業として行なわれたもので、特に、今回は他県への旅行とあって、様々な難題もあがられたが、討議の末、沖縄にはない「紅葉」をみて見聞を深



総勢90名が参加した町婦人会西九州一周「紅葉の旅」

め知識の高揚を図ろうと西九州「紅葉の旅」を決定した。今回の旅行には、総勢九十名の人員が参加、大好評の内無事終了した。なお、この旅行には、母親と来年結婚予定の娘さん親子や、奥さんに付添ってお父さんも参加するという、母娘と夫婦の仲むつまじいカップルの特別参加もあり、参加した婦人達にとっては、心暖まるいたわり合いの旅行にもなり来年も是非このような企画をして欲しいという声が大半であった。

寄附金

▽字嘉手苅六四番地の中山トヨさんより町社協へ二万円。
▽字兼久一〇九―九番地安良城カマさんよりカジマヤを記念して町社協へ五万円。
▽字我謝一九四番地の平敷静男さんより町社協へ二万円。

香典返し

▽佐敷町字新里三六六―一番地山城初枝さんより故津波千代さん（守礼の里）の香典返しとして町社協へ三万円。
▽字兼久一番地の新垣邦子さんより故夫、新垣良康さんの香典返しとして町社協へ十万円。